



笑顔で入学式をむかえた新入生

平成31年度 入学式

新入生195名 新たなスタート!

入学式では担任から一人ひとりの名前を呼ばれた後、市川敏美校長から入学を許可され、藤岡中生としての一歩をスタートさせました。

市川校長は式辞の中で「『苦勞の先にある本当の喜びを追い求めて欲しい』そして『人の喜びを、自分の喜びとして感じられる人間になってほしい』。新入生が一人の人間として成長し、自立していく姿を、藤岡中央高校

4月9日(火)、平成31年度入学式が挙行されました。15期生となる195名の新入生は、期待と不安を胸に抱きながらの初登校。真新しい制服に身を包み、緊張した表情で入学式を待つ新入生の顔が印象的でした。

は、いつもそばで応援し支え続けていきたい。」と新入生を激励しました。

新入生代表宣誓では、茂木美濤さん(中里中出身)が「この藤岡中央高校という場を通じて、社会で活躍できる人材になれるよう、励んでいきたい。そして、これから三年間一緒に励んでいく仲間との友情を深め、互いに支え合いながらそれぞれの進路に向かって努力していきたい。」とこれから始まる高校生活への決意を力強く宣誓し、新入生それぞれが高校生活への期待を胸に新たな一歩を踏み出しました。



堂々と誓いの言葉を述べる茂木さん

対面式

生徒会主催 ようこそ藤中へ



新入生を代表してあいさつをする松崎くん

4月10日(水)、生徒会主催の対面式が行われ、新入生と上級生が初めて顔を合わせました。新入生は緊張した表情で上級生の待つ体育館に入場し、歓迎を受けました。

上級生を代表して生徒会長の田島葉菜さん(藤岡東中出身)が歓迎のメッセージを贈り、続いて新入生を代表して松崎大輝くん(新町中出身)があいさつを述べました。松崎くんはあいさつの中で「新しい生活に不安や戸惑いを抱えることもあると思います。その時には先輩方からあただかのご指導をいただければ大変嬉しいです。」と今抱えている素直な気持ちを上級生に伝え、和やかな雰囲気では終了しました。

部活動報告

和太鼓部



満開の桜のもと演奏する和太鼓部

4月7日(日)、高崎量子応用研究所で開催された花と緑の見学会で演奏を行いました。

満開の桜のもと力強い演奏を披露し、来場者を楽しませていました。部長の原田竹千代くん(入野中出身)は、「お客さんが一緒に手拍子をしてくれてうれしかったです。まだまだ自分たちの演奏技術に満足していないので、これからもっと技術を向上させていきたいです。」と感想。そして今後への意気込みを述べてくれました。

インターアクト部

4月13日(土)、藤岡市の古桜町広場で開催された『花と緑のぐんまづくり』藤岡プレイベント』に参加し、花植えのボランティアを行いました。このイベントは、ぐんまを花と緑あふれる、美しい地域にするためのもので、県内の様々な地域で活動が行われています。

部長の鈴木愛土くん(小野中出身)は、「部員同士で協力し、役割分担を工夫することで、効率よく活動し、早く終わらせることができました。子どもたちがこの広場に来たときに花を見て笑顔になって欲しいです。」と語ってくれました。



花植えボランティアで地域貢献

新入生部活動リーダー養成合宿実施!!



レクリエーションで仲間と協力することの大切さを学ぶ

4月12日(金)、13(土)、本校セミナーハウスで新入生を対象とした部活動リーダー養成合宿を行いました。部活動での活躍が期待される34名の新入生が参加し、2、3年生や先生からリーダーとしての心がけや集団づくりについて学びました。参加した川端悠斗くん(小野中出身)は、「一人ひとりの個性を活かすこととリーダー性が大切だということを学びました。レクリエーションで話したことのない人とグループになりましたが、アドバイスをし合いながら協力し、楽しむことができました。」と感想を述べてくれました。

新入生の今後の活躍にご期待ください。



藤中理数科マスコットキャラクター『りすたん』

『広報ひびき』は藤岡中央高校生の活躍を地域のみなさまにお伝えしていきます。本校のホームページにはカラー版もありますのでぜひご覧ください。

